

## 令和 2（2020）年ブロック研究「研究の概要（別紙2）」作成について

ブロック研究成果「研究の概要」は『保育士養成研究所報告書』に掲載をいたします。つきましては、下記の要領で作成、提出をしてください。

## 1 「研究の概要」原稿の体裁等

- ① 余白 上 30mm、下 25mm、左右 22mm、ヘッダー・フッターともに 10mm
- ② 1 頁の文字数 44 字×43 行
- ③ 本文は MS 明朝 10.5pt、英数字は century10.5pt 全て半角、「( )」は全角とします。
- ④ 文末は、常体（「だ」「である」）に統一してください。
- ⑤ A4 版片面印刷で 4 頁以内にまとめてください。

## 2 題名、副題

- ① いずれも MS ゴシック 11pt

## 3 研究者名（所属）

- ① 研究者名（所属）は MS 明朝 9pt
- ② 1 行に 2 名ずつ、中央揃えで表記してください。
- ③ 研究者の所属は令和 2 年 3 月 31 日現在

## 4 見出し、小見出し

- ① 本文 中の見出しは、「Ⅰ. Ⅱ. Ⅲ.」MS ゴシック 10.5pt 全角で左寄せとします。  
見出しと本文の間は 1 行空けてください。
- ② 小見出しは、「1. 2. 3.」、「(1)、(2)、(3)」、「①、②、③」、「ア、イ、ウ」の順で番号を付してください。  
第 1 小見出し「1. 2. 3.」は MS ゴシック 10.5pt 全角で、第 2 小見出し以降は MS 明朝 10.5pt 全角で、左寄せとします。  
小見出しと本文の間は詰めてください。

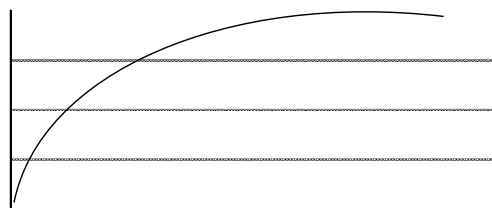
## 5 図表

- ① 図表の表題は、「図」と「表」に分けず、「図表」として通し番号を振ることとします。
- ② 図表の表題フォントは MS 明朝、英数字は Century 共に 9 ポイント、英数字は半角とします。
- ③ 表題は、「表」の場合は上に、「図」の場合は「下」に、中央揃えで記載してください。

例 1

図表 1-1-1. 表題（MS 明朝、英数字は Century 共に 9pt で記入。）


例 2



図表 1-1-2. 表題（MS 明朝、英数字は Century 共に 9pt で記入。）

- ④ 図表内のフォントは MS 明朝、英数字は Century 半角で、文字サイズは任意とします。
- ⑤ 図表の基データは報告書原稿と一緒に必ずご提出下さい。  
※編集作業で調整するために基データが必要となります。

## 6 注、引用文献、参考文献

- ① フォントは MS 明朝 9pt、英数字は Century 半角 9pt で、「( )」は全角とします。
- ② 注、引用文献はそれぞれ通し番号を付け、各部の本文の最後に記載して下さい。
- ③ 「注」は、本文中の該当箇所の右肩に、<sup>注1)</sup>、<sup>注2)</sup> の番号を付して記載して下さい。
- ④ 「引用文献」は、本文中の該当箇所の右肩に、<sup>1)</sup>、<sup>2)</sup> の番号を付して記載して下さい。
  - 雑誌の場合： 著者名（発行年），論文題名，『誌名』，巻数（号数），頁。  
例：  
1) 吉田和人（2002），「幼児のボールキック運動の特徴」，『保育学研究』，40（2），pp.50-51
  - 単行本の場合：著者 [あるいは編者名]（発行年），『書名』，発行所，頁。  
例：  
2) 高濱裕子（2001），『保育者としての成長プロセス-幼児と野関係を視点とした長期的・短期的発達』，風間書房，p.75.
  - 複数の著者によって書かれた単行本の特定部分を引用する場合：章・節の著者名（発行年），章・節のタイトル，本の著者 [あるいは編者名]，書名，発行所，頁。  
例：3) 野口啓示（2018），「現代社会における社会的養護の意義」，伊藤嘉余子・福田公教編著，『MINERVA はじめて学ぶ子どもの福祉5 社会的養護』，ミネルヴァ書房，p16.
  - 政府刊行物等の引用は，“編集機関名（出版年） 書名、出版社。”の順で記載する。  
例：4) 厚生労働省（2018）平成30年度版厚生労働白書。
  - ウェブページからの引用は，“機関名、ページのタイトル URL（閲覧日）”の順で記載する。  
例：5) 内閣府 子ども子育て本部について <http://www8.cao.go.jp/shoushi/about.html>  
（2018年12月8日閲覧）
- ⑤ 「参考文献」は、筆頭著者のアルファベット順に記載する。  
例：繁枅算男・柳井晴夫・森敏昭（1999），Q&A で知る統計データ解析-DSs and DON' Ts-，サイエンス社